



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 エスビー食品株式会社

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 雅也

問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ財経管理室 (氏名) 山崎 崇弘  
 経理ユニットユニットマネージャー

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	102,683	9.7	3,861	△8.9	4,253	△3.7	2,912	4.6
27年3月期第3四半期	93,599	△2.0	4,236	△5.4	4,417	△1.7	2,784	0.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,716百万円 (33.1%) 27年3月期第3四半期 3,543百万円 (11.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	432.48	—
27年3月期第3四半期	402.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	108,219	36,847	34.0
27年3月期	102,903	33,548	32.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 36,847百万円 27年3月期 33,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
28年3月期	—	35.00	—		
28年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,500	7.9	3,000	△25.6	3,600	△12.8	2,200	10.4	326.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	6,977,117 株	27年3月期	6,977,117 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	398,427 株	27年3月期	204,087 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	6,734,145 株	27年3月期3Q	6,909,498 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続いたことから、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし一方では、海外経済の減速や成長鈍化などの懸念材料もあり、先行きについては不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、依然としてお客様の節約志向が見られるなかで、円安などによる原材料価格上昇への対応も求められており、厳しい環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立って、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。お客様の声を敏感に捉え、新しい価値を見いだす製品開発や、きめ細かな営業活動の徹底に努めまるとともに、スパイスとハーブの魅力をお伝えするための情報発信に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比90億83百万円増の1,026億83百万円（前年同期比9.7%増）となりました。利益面におきましては、食料品事業は、売上高が大きく増加したことに加え、引き続き原価低減や経費削減に努めたことにより、前年同期実績を上回りましたが、調理済食品におきまして、工場の新設に伴う初期費用の発生に加え、労務費の負担など、生産性が想定したレベルに至っていないことにより、前年同期実績を下回りましたことから、営業利益は前年同期比3億75百万円減の38億61百万円（同8.9%減）、経常利益は前年同期比1億64百万円減の42億53百万円（同3.7%減）となりました。なお、固定資産売却益や補助金収入の発生があったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億28百万円増の29億12百万円（同4.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

#### (1) 食料品事業

売上高は、前年同期比58億5百万円増の911億79百万円（同6.8%増）となりました。なお、セグメント利益（営業利益）は前年同期比10億71百万円増の52億65百万円（同25.5%増）となりました。

#### (2) 調理済食品

売上高は、前年同期比32億77百万円増の115億3百万円（同39.8%増）となりました。なお、セグメント損失（営業損失）は14億37百万円（前年同期はセグメント利益8百万円）となりました。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して53億16百万円増加し、1,082億19百万円となりました。これは主に、売上債権の増加80億28百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して20億17百万円増加し、713億72百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して32億98百万円増加し、368億47百万円となりました。この結果、自己資本比率は34.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月30日に発表いたしました平成28年3月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,796	14,850
受取手形及び売掛金	22,529	30,558
商品及び製品	4,902	5,377
仕掛品	1,740	1,803
原材料及び貯蔵品	5,481	5,948
その他	6,907	6,325
貸倒引当金	△2,257	△2,450
流動資産合計	57,101	62,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,404	11,439
機械装置及び運搬具(純額)	5,742	6,577
土地	9,946	8,563
その他(純額)	3,188	2,871
有形固定資産合計	30,282	29,450
無形固定資産		
のれん	13	10
その他	498	474
無形固定資産合計	511	484
投資その他の資産		
投資有価証券	7,179	7,495
その他	8,456	8,803
貸倒引当金	△627	△427
投資その他の資産合計	15,008	15,871
固定資産合計	45,802	45,807
資産合計	102,903	108,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,103	11,960
短期借入金	21,487	24,257
未払法人税等	381	277
賞与引当金	1,051	563
資産除去債務	2	—
その他	11,844	11,299
流動負債合計	45,871	48,358
固定負債		
長期借入金	13,851	13,720
退職給付に係る負債	7,073	6,940
資産除去債務	139	140
その他	2,418	2,212
固定負債合計	23,483	23,014
負債合計	69,354	71,372
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	28,985	28,386
自己株式	△848	△1,792
株主資本合計	35,218	33,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,321	2,575
土地再評価差額金	△3,729	831
為替換算調整勘定	52	53
退職給付に係る調整累計額	△314	△289
その他の包括利益累計額合計	△1,669	3,171
純資産合計	33,548	36,847
負債純資産合計	102,903	108,219

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	93,599	102,683
売上原価	53,946	61,043
売上総利益	39,653	41,640
販売費及び一般管理費		
販売促進費	21,305	23,018
その他	14,111	14,760
販売費及び一般管理費合計	35,417	37,778
営業利益	4,236	3,861
営業外収益		
受取利息	65	58
受取配当金	140	146
不動産賃貸料	20	25
貸倒引当金戻入額	225	525
為替差益	97	4
その他	99	108
営業外収益合計	648	867
営業外費用		
支払利息	440	438
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	26	37
営業外費用合計	467	475
経常利益	4,417	4,253
特別利益		
固定資産売却益	2	636
債務保証損失引当金戻入額	201	—
補助金収入	—	300
その他	70	0
特別利益合計	273	936
特別損失		
固定資産売却損	6	285
固定資産除却損	126	174
投資有価証券評価損	4	—
ゴルフ会員権評価損	—	4
貸倒引当金繰入額	202	5
関係会社整理損	—	137
その他	91	97
特別損失合計	432	703
税金等調整前四半期純利益	4,259	4,486
法人税、住民税及び事業税	1,564	431
法人税等調整額	△89	1,142
法人税等合計	1,475	1,574
四半期純利益	2,784	2,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,784	2,912



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	2,784	2,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	524	254
土地再評価差額金	2	1,524
為替換算調整勘定	56	0
退職給付に係る調整額	175	24
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	759	1,803
四半期包括利益	3,543	4,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,543	4,716
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年11月18日開催の取締役会決議に基づき、自己株式194,200株を942百万円で取得いたしました。当第3四半期連結累計期間における自己株式は、主にこの取得により943百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は1,792百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	85,374	8,225	93,599	—	93,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	85,374	8,225	93,599	—	93,599
セグメント利益	4,194	8	4,202	33	4,236

(注) 1. セグメント利益の調整額33百万円は、セグメント間取引消去33百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,179	11,503	102,683	—	102,683
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,179	11,503	102,683	—	102,683
セグメント利益又は 損失(△)	5,265	△1,437	3,827	33	3,861

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33百万円は、セグメント間取引消去33百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、「その他」と表示しておりました「調理済食品」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	85,374	91,179	5,805	
スパイス&ハーブ	16,814	17,860	1,046	業務用香辛料、シーズニングスパイス (増加)
即席	22,734	25,764	3,030	即席カレー (増加)
香辛調味料	22,800	24,135	1,335	チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	23,024	23,418	393	レトルト製品 (増加)
調理済食品	8,225	11,503	3,277	調理麺等、新工場の稼働 (増加)
計	93,599	102,683	9,083	